

建築構造設計演習 休校期間中の課題2

教科担当 杉山 諭

◆目的

2年次の学習内容をこの休校期間に復習することを目的とする。

◆課題内容

【1】前回同様、教科書『建築構造設計』の章末問題及び節末問題を解き直す。別紙に各問題を提示したので、これを解いてノートにまとめてレポート提出する。問題中の数値は、教科書のものとは変えてある。

□第2章 静定構造物の部材に生じる力

- 1) p81 節末問題
- 2) p91 章末問題

次回登校日に全員提出する。

◇課題のまとめ方

【1】前回同様、下記のようにまとめる。

- 1) 前回の課題の続きとして次ページより書き始める。
- 2) 問題を必ず書く(描く)こと。問題を切り貼りしてもよい。
- 3) 計算過程を詳しく書くこと。
- 4) 結果をわかりやすく明示する。
- 5) 行間にゆとりを持たせ、見やすくなるような工夫をすること。
- 6) 必要に応じて図等を挿入し、見やすくまとめること。
- 7) 本課題の目的は、学校再開後の科目『建築構造設計演習』の授業を円滑に行うためのものである。したがって、レポートの形式をとっているが、この目的を踏まえて本課題に取り組むこと。

◇記入上の諸注意

- 1) 本課題を建築設計演習のノートにまとめること。必ず専用とする。
- 2) レポートは、基本的に他人に見せることを前提としているので、丁寧にかつ分かりやすく記述することが必要。
- 3) 本レポートは鉛筆書きで良い。
- 4) 当然、評価対象となる。
- 5) 前回の課題の解答については、次回の課題の出題に合わせて配布する。